



支部が元気モリモリになるヒント満載！

「楽しい」それが大事

【ゲスト講師：香川医療生協・高須支部より、

支部の活動紹介】

吉尾元組合員活動副部長さん・石田支部長さん・堀江副支部長さん

- ・「楽しい」活動のきっかけは、支部分轄。地域のことが隅々までわかる。
- ・班長も支部運営委員会に参加
- ・楽しい活動を紹介・健康チェック・うどんバザーは地域のたまり場・年に2回のバスツアー・七夕/クリスマスコンサート・年末ひとりおせち作成配布・もちつき大会・サークル（絵手紙・ハイキング）・廃油せっけんづくり
- ・75歳以上の組合員さんのお誕生月訪問
- ・合同班会 みんなで頑張っていることを発表



75歳以上の組合員さんのお誕生月訪問



3班合同の「脳いきいき班会」ではじける笑顔



支部長・運営委員学習講習集会は、①専務さんのミニ講座（「医療福祉生協の組織・活動・魅力」）、②法人内4支部の活動発表、③香川医療生協高須支部の活動紹介を受けた後、グループごとの「支部が元気モリモリになるための『提言』」づくりも着々と進み、発表も率先して次々と。まさに“元気モリモリ”の集会となりました。

医療生協の「楽しい」って..

○一人一人が、医療生協の活動の中に「場」をみついている。自分の役割を見つけることができている。家にいたらすることがなく、自分のことを認めてもらえることがない。医療生協の活動に参加して、張り合いができるってことでは・・

○脳梗塞後遺症で少し障害の残った組合員さんに、息子さんが自分のところに来たらと勧めたが、「私はここから引っ越しはせん。班会に出てきてよかった。家におったら一日喋ることもなかった。ここに私の『居場所』があるんよ」と。（香川医療生協・石田支部長さんの発言より）

（グループ討論発表より）

先進的な発表を聞いて、自分のところはダメだという聞き方をしないようにしましょう。ヒントをもらったことを、何かからでもいいから、まず一歩、踏み出しましょう。